

2025年 夏は参議院選！ ―今回のあなたの推しは？― 愛媛

―立候補予定者4名へのアンケート&回答公開―

7月20日(日)は参議院議員選挙の投票日です。
このたび立候補予定者のみなさまの思い・考え方を伺うため公開質問を行いました。
参議院議員の任期は6年。3年ごとに議員数の半分が入れ替わる大事な選挙です。
投票日当日の7月20日に投票に行けない方も7月4日から期日前投票をすることができます。投票できる
場所は市役所など各自治体でご確認ください。また投票は投票はがきが届いていない場合でも投票する
ことができますので安心してお出掛けください。
なお、立候補予定者の原田しんたろう様と川端佑典様は回答期限の6月30日午後10時までにご回答い
ただけませんでしたので回答欄を省略いたしました。

上野由佳(うえの ゆか)	お名前	ながえ孝子(ながえ たかこ)
自民党	所属	無所属

現行憲法を改正する必要があると思いますか？ (選択肢) ・ある ・ない ・その他		
ある		ない
「ある」と答えた場合、それは何条でどのような理由からですか？(記述式・100文字以内)		
幼児教育を含め教育環境の充実に 向けて憲法第26条、地方と都市圏と の格差是正のために憲法第47条、 南海トラフ巨大地震など有事に備え て政治空白を産まないために第99 条の改正が必要と考えます。		

消費税減税に賛成ですか？ (選択式) ・賛成(生活者の負担軽減のため) ・反対(財政への影響が大きい) ・その他		
その他		賛成(生活者の負担軽減のため)
「その他」を選択した理由をご記入ください		
消費税減税は高所得者に有利に働 き、法改正や現場手続きに時間がか かるため、「すぐ効く」「よく効く」給付 金によって、年金生活をされている低 所得世帯・食べ盛りの子供たちがい る子育て世代の負担を減らします。		

上野由佳（うえの ゆか）	お名前	ながえ孝子（ながえ たかこ）
原発ゼロ社会の実現に賛成ですか？ （選択式） ・賛成 ・反対 ・その他		
その他		賛成
「その他」を選択した理由をご記入ください		
エネルギー政策は「安定供給」、「経済成長」、「脱炭素特定」が基本です。電源立地自治体の皆さんのお気持ちに寄り添いながら、特定の電源に頼りすぎないエネルギーミックスを推進していきます。		

食の安全（遺伝子組み換え表示義務／ゲノム編集食品の規制）について、規制強化が必要だと思いますか？ （選択式） ・必要 ・不要 ・その他		
必要		必要

有機農業の支援拡充に賛成ですか？ （選択式） ・賛成 ・反対 ・その他		
賛成		賛成

2050年までの脱炭素社会の実現に向けた法整備・財政措置が必要と考えますか？ （選択式） ・はい ・いいえ ・その他		
はい		はい

地域の食と農を守る政策（地産地消／小規模農家支援等）について、どのような取り組みを重視していますか？ （記述式・100文字以内）		
条件が不利な中山間地域の生産者の皆様を守るために中山間直接支払制度の強化を進めるとともに、「若者」「女性」の感性・アイデアを活かしながらマーケティングにも注力し、国内外に向けた需要拡大に取り組めます		現在の米価は消費者にとっては高いが生産者にとっては高くない。流通業者をスケープゴートにするのではなく、国の責任で戸別所得補償を復活させ、生産者の赤字を出さないように、生産者と消費者を共に守り抜きます。

子どもの貧困や教育格差の是正に向けて、どのような政策が必要だと考えていますか？ （記述式・100文字以内）		
生まれた地域によって、受けられるサービスに差が生まれないように「ナショナルミニマム」を決め格差を是正します。また、奨学金の拡充・国公立大学の学費がこれ以上高騰しないように教育予算の確保に努めます。		小中高で生徒の不登校の問題が深刻化しており、各家庭を訪問するアウトリーチ型専門機関の整備、オンラインフリースクール費用補助等の政策を総動員し、授業料無償化に止まらない抜本的な挺入れに全力を尽くします。

上野由佳(うえの ゆか)	お名前	ながえ孝子(ながえ たかこ)
ジェンダー平等(選択的夫婦別姓／LGBTQ+の権利保障など)のための法整備について必要と考えますか? (選択式) ・はい ・いいえ ・その他		
はい		はい

あなたが重視している政策・施策を選んでください(複数選択可)		
	憲法改正	
	消費税の減税	☐
	原発ゼロ	
	脱炭素社会の実現	
	有機農業の推進	
☐	子育て支援・教育の充実	☐
	ジェンダー平等・人権保障	
☐	地方活性化・地域経済	☐
☐	福祉の充実	☐
☐	雇用の安定・中小企業支援	☐
☐	食の安全・安心	☐
	その他	

私たちの一票一票が国の政治につながります。世代別投票率を見ると、若い世代の投票率が低くなっています。自分自身の一票を投じて国会議員を選ぶことは、自分たちの生活を変える、未来に希望を持てる社会にするための第一歩です。大切な一票を投じることを棄権する、もしくは白票はもったいないことです。

投票率を上げて、より国民の総意で選ばれた国会議員を選出しましょう。